

第65回高齢者排泄ケア講習会

日時：令和3年6月5日（土）14：50～17：00

開催形式：ハイブリッド形式（会場参加＋WEB参加）

参加費：1,000円

Field※：A(排尿管理)、D(その他)

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツは
ずし・認知症・介護・保険 他）
詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

【会場参加】募集定員：40名（新型コロナワクチン2回接種済の方を対象）

会場：福岡国際会議場 4階 中会議室 409+410

【WEB参加】募集定員：200名

テーマ：排尿管理における環境整備から多職種連携

● 情報提供 脳下垂体ホルモン剤 ミニリンメルト OD錠 50 μ g / 25 μ g
フェリング・ファーマ株式会社、キッセイ薬品工業株式会社

開会の挨拶：山口秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：山下博志 先生（まえばる泌尿器科クリニック 院長）

演題：「排泄動作を自立（律）するために必要なトイレ環境と安全な移乗動作」

講師：松尾清美 先生（合同会社 KT 福祉環境研究所 代表）

◆ 講師からのコメント

排泄動作を自立（律）するためにはトイレ環境（トイレ内の便器とその周辺の設備機器と自助具や道具）の工夫と開発、そしてそれらの使い方を伝達することが大切と考えています。なぜなら。相談に来られる多くの高齢者は、立てなくなったり歩けなくなると、「トイレまで行けない、便器に移乗できない」と考えているのです。しかし、歩行器や車椅子の工夫、排泄道具の工夫を行い、洋式便器への移乗方法をしっかり伝達すれば排泄を自立（律）できる方が多いのです。

演題：「『その患者さんにふさわしい排尿管理は何か？』

多職種で一緒に考える私たちの新しい試み」

講師：南里正晴 先生（南里泌尿器科医院 院長）

◆ 講師からのコメント

泌尿器科医院の外来には家庭や施設での排尿管理に困っている高齢患者さんが受診されます。検査や評価を行い、ご家族や施設の方に一般的な対処方法を説明して終了という流れでした。果たしてこれでいいのだろうか？うまく伝わっているのだろうか？これが私の悩みでした。これを解決するために、その患者さん個人に関わる多職種を巻き込んだ新しい試みを始めました。まだ試行錯誤ですが実例を提示しますので一緒に考えてみませんか？

閉会の挨拶：武井実根雄 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局長） 福岡高齢者排泄改善委員会
ホームページ QRコード

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、
フェリング・ファーマ株式会社、キッセイ薬品工業株式会社

後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9：00～17：00 土・日・祝日 休）
〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL：092-282-5910 FAX：092-282-5812

